

卸全体への影響とピップの流通BMS対応事例

～情報志向型卸売業研究会を通じて検討していること～

2016年4月21日
フジモトHD株式会社
松本 寿一

I 情報志向型卸売業研究会(卸研)について

- * 概要・卸研会員企業一覧・過去10年間の研究テーマ

II ピップグループについて

III 卸研作成資料

- ・ はじめに
- ・ INSネット提供終了に伴う流通業界への影響
- ・ 流通BMS導入に向けて
- ・ まとめ

※ 補足資料 ①卸営業向けパンフレット ②流通BMSマッピング例

IV 弊社の事例

情報志向型卸売業研究会(卸研)概要

【目的】

“卸研”は、卸売業の情報化を促進することによって、流通システムの効率化に寄与することを目的とした研究会です。

【経緯】

1985年に発表された「情報武装化卸売業ビジョン」を契機として、同年8月、経済産業省の指導により設立されて以来、各卸売業に共通する情報化の課題について、業種横断的に調査・研究を行っています。2015年度は、第31期となります。

(卸研パンフレットより転載)

※ 事務局は流通システム開発センター内に置かれています。

I 卸研について 会員企業一覧

2015年度
情報志向型卸売業研究会
研究委員会

2015年度 卸研会員

2015年7現在

正会員

旭食品(株)
(株)あらた
伊藤忠食品(株)
(株)大木
貝印(株)
花王カスタマーマーケティング(株)
加藤産業(株)
カナカン(株)
国分(株)
(株)シイエスシイ
(株)外林
タツミ産業(株)

(株)種清
(株)トーカン
(株)日本アクセス
日本酒類販売(株)
ピップ(株)
(株)マルイチ産商
三井食品(株)
三菱食品(株)
ヤマエ久野(株)
(株)山星屋

22社

準会員

亀井通産(株)
(株)ジャパン・インフォレックス
セイカ食品(株)
(株)ヘリオス

4社

合計 47社

賛助会員

(株)アスコット
伊藤忠テクノソリューションズ(株)
NECソリューションイノベータ(株)
(株)岡村製作所
(株)サイバーリンクス
(株)シーネット
都築電気(株)
(株)テスク
東芝(株)
東芝テック(株)
日本電気(株)
日本ユニシス(株)
(株)ネクスウェイ
(株)日立製作所
(株)ひむか流通ネットワーク
(株)ファイネット
富士通(株)
(株)富士通システムズ・イースト
(株)プラネット
ベンサムネットワーク(協)
ホンダロジコム(株)

21社

I 卸研について 過去10年間の研究テーマ

2015年度
情報志向型卸売業研究会
研究委員会

期	年度	テーマ
21期	2005年度	「卸売業としてのGTINへの対応」
22期	2006年度	「中間流通業における国際標準への対応 ～次世代EDI」 A: 普及パンフレットの作成、B: 卸売業としての活用ガイドラインの作成、C: 物流関連項目の検討
23期	2007年度	「卸売業における流通情報システム標準化への対応」 A: 物流標準化チーム、B: 流通BMSガイドライン検討チーム、C: 卸向け流通BMSファーストステップガイド検討チーム、D: 中小企業の流通BMS検討チーム
24期	2008年度	「中間流通業における鮮度管理への対応について」 A: 発注チーム、B: 入荷在庫管理チーム、C: 出荷チーム
25期	2009年度	「中間流通における鮮度管理ガイドライン」 A: 運用ガイドライン検討チーム、B: システムガイドライン検討チーム、C: ガイドライン実用化推進チーム
26期	2010年度	「卸売業の取り組むべき環境問題」 A: 卸売業におけるグリーン物流への取り組みについて、B1: 伝票・帳票類のペーパーレス化、電子化など、B2: 照明、エアコンにおける消費電力削減対策と省エネ効果の検証、C: 卸研正会員企業の環境への取り組み
27期	2011年度	「卸売業の取り組むべき環境問題」 A: ペーパーレス、作業効率化を目的としたスマートデバイスの活用、B: 卸売業の返品問題、C: 共同輸配送による配送効率化や、物流センターにおける省エネ、D: 災害時等の卸のBCM(事業継続管理)/BCP(事業継続計画)
28期	2012年度	「社会インフラとしての卸機能の高度化を目指して」 A: 卸売業の情報システム面でのBCP/BCM、B: 卸売業の物流面でのBCP/BCM、C: 新しいIT(スマートデバイス)の活用、D: 新しいIT(SNS)の活用、E: 流通BMSの標準運用への提案と啓蒙
29期	2013年度	「社会インフラとしての卸機能の高度化を目指した協同への取り組み」 A: 卸売業のBCP/BCM ～メーカーとの連携を中心に研究～、B: 流通BMS 標準運用の普及 ～提案と啓蒙を中心に研究～、C: スマートデバイスの活用 ～業務活用、情報創造を視野に～、D: ビッグデータ/クラウドの活用、E: 情報システムにおけるコスト削減
30期	2014年度	「卸情報システムの将来像につなげる基盤整備」 A: 流通BMSの標準運用、B: スマートデバイスの活用、C: クラウドの活用、D: 情報システムのコスト削減と人材育成、E: 卸物流システムの新技術

2015年 卸研 事業計画より

会員による自主的な研究活動の場である研究委員会は、卸研の最大の機能であり活動の中心として位置付ける。研究内容は卸売業の実務担当者が必要とする、実務の現場における課題とされるテーマを検討し、卸売業としての意見表明を行う内容とする。

課題、テーマについて、単なる情報収集、課題の確認を行うのではなく、参加者(社)が課題、テーマに対するそれぞれの問題意識に基づき、積極的に意見を表明し、それらを取りまとめ卸売業の総意として提言を行う組織とする。

全体テーマ：卸情報システムの将来像につなげる基盤整備

- ・ 流通BMS普及推進:INSネット提供終了を機に普及推進
- ・ スマートデバイス活用:営業スタイルの変革・PC代替など
- ・ 情報システム部門の将来像、今後の役割と人財育成
- ・ 入荷作業における精度の維持／向上と効率化
- ・ 2020年に向けた人手不足と物流費高騰への対策

過去資料：http://www.dsri.jp/society/oroshi_ken.htm

Ⅱ ピップグループについて

2015年度
情報志向型卸売業研究会
研究委員会



○ 会社概要

社名	フジモトHD株式会社(英文名称: FUJIMOTO HOLDINGS CO., LTD.)
設立	2008年5月1日
資本金	20億円
年商	2,079億円 <2015年10月期>
従業員	1,431名(男性968名、女性463名) 2015年10月31日現在
事業内容	純粋持株会社として、「医療衛生用品、健康食品、ベビー用品等卸売事業」「健康用品、医薬品等商品開発事業」「物流事業」「介護事業」「フットケアサロン運営、化粧品販売事業」およびそれに関連する事業を営む会社の管理・運営
本社所在地	〒101-8528 東京都千代田区内神田三丁目3番7号

Ⅱ ピップグループについて

2015年度
情報志向型卸売業研究会
研究委員会

ピップグループ



ピップ株式会社

事業内容	医療衛生用品、健康食品、ベビー用品、ヘルスケア用品、日用雑貨品、医薬品、医薬部外品、医療機器などの製造、販売。ピップエレキバン、スリムウォーク、ピップ内服液などの自社開発商品の製造、販売。介護・看護用品、介護用医療器械器具のリースまたは販売。倉庫業、貨物自動車運送業、貨物利用運送業、労働者派遣業など
所在地	〒540-0011 大阪府大阪市中央区農人橋 2-1-36 電話番号 06-6941-1781 FAX番号 06-6941-9586
ウェブサイト	http://www.pipjapan.co.jp/
出資	フジモトHD株式会社 100%

Ⅱ ピップグループについて 製品紹介

2015年度
情報志向型卸売業研究会
研究委員会

【ピップ エレキバン】



【ピップ マグネーループ】



【スリムウォーク】



【ピップ キネシオロジーテープ】



Ⅱ ピップグループについて 製品紹介

2015年度
情報志向型卸売業研究会
研究委員会

【うなずきかぼちゃん】

聞く、話す、感じる、考える、うなづく。毎日が笑顔になれる！

笑顔で元気に生活してもらいたい。そんな想いをこめたスマイルサプリメントロボットです。

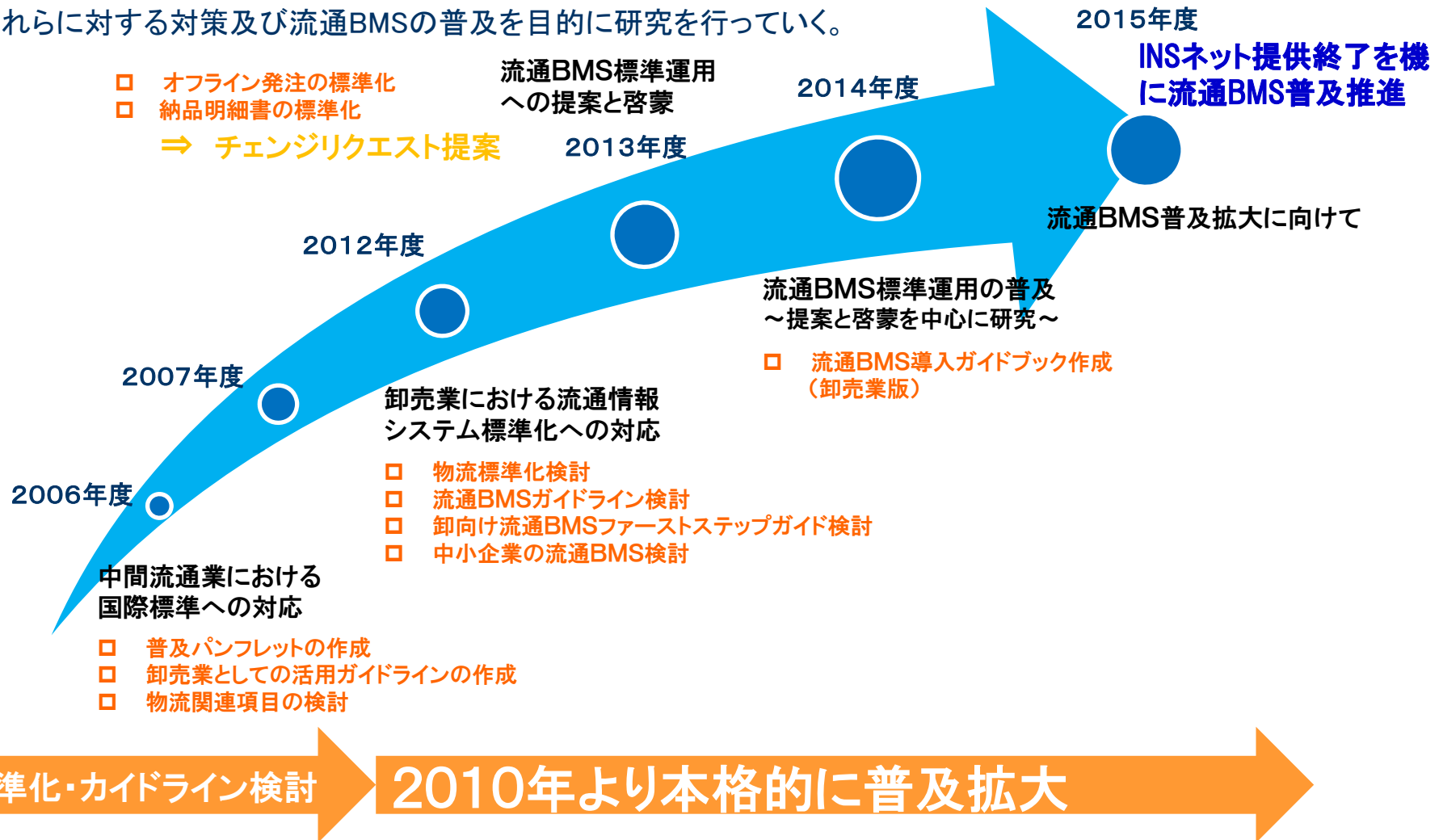


Ⅲ 卸研作成資料

1. はじめに

卸研では流通BMSについて、過去様々な研究に取り組んできた。
流通BMSの普及も着実に進んできてはいるがレガシーEDIもまだ残っており
まだまだ普及する余地は残っている。

本年度ではNTT東西が発表したINSネット提供(デジタル通信モード)終了を機と捉え
それらに対する対策及び流通BMSの普及を目的に研究を行っていく。



Ⅲ 卸研作成資料 1. はじめに

1-1. テーマ設定の背景

2020年後半よりNTTのサービス基盤であるPSTN(コアネットワーク)がIP網へ順次移行され、INSネット(デジタル通信モード)の提供が終了しJCA手順・全銀手順・全銀TCP/IP手順が使用できなくなる。そのため、小売業・卸売業ともに通信手段を変更する必要がある。そこで、標準外EDIへの移行を抑制しつつ流通BMSへ切替を促進する方法について検討する。



2020年以降、今のEDI(JCA手順・全銀手順・全銀TCPIP手順)が利用できなくなる！

1-2. テーマ設定の目的

<研究テーマ>

～INSネット提供(デジタル通信モード)終了を機に流通BMS普及推進～

【1. INSネット提供終了に伴う危機感の共有】

INSネット提供終了に伴い小売業・卸売業共に莫大な対応作業が必要となる。
それらの影響について理解を深め危機感を流通業界で共有する

【2. 事務作業の効率化・業務品質・精度の向上】

流通BMS導入による小売業・卸売業双方のメリットについて理解を深め
双方の事務作業の効率化、業務品質・精度を向上させる

【3. 標準化を推進するための提言】

流通BMS導入を促進する方法の検討を行う

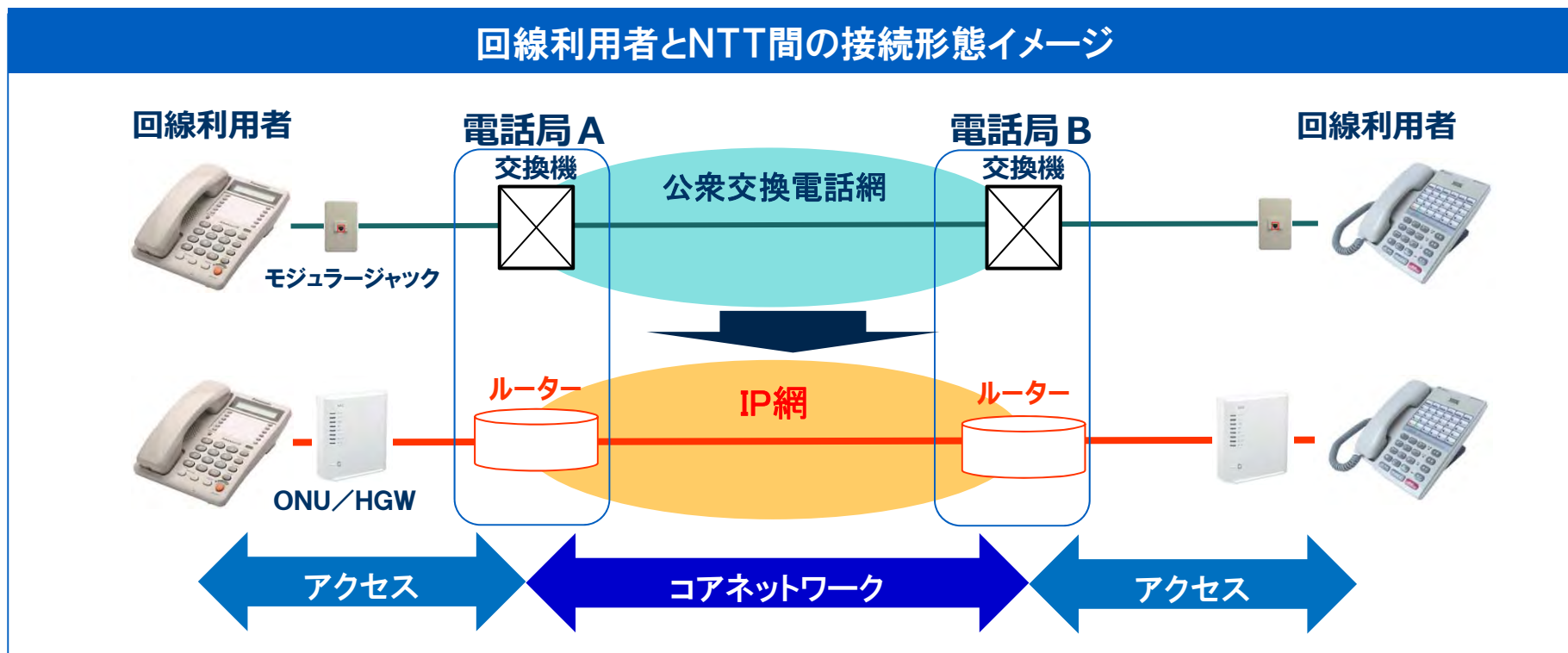


流通BMS
普及推進

2-1. PSTNマイグレーションの理解

NTTの既存の基幹的なサービスの基盤であるPSTN(コアネットワーク)を2020年後半よりIP網へマイグレーション(移行)する計画のこと

- PSTN(Public Switched Telephone Network) : 公衆交換電話網、一般加入電話サービスなどを提供する交換機をつないだコアネットワーク
- マイグレーション(migration):「移動」「移行」「移住」



2-1. PSTNマイグレーションの理解

■ NTT東西発表の内容（通信回線と通信プロトコルのイメージ）

通信回線の種類	通信速度	終了予定	通信手順
アナログ回線 公衆回線	2400bps	注1) ～2025年頃	JCA手順
デジタル回線 ISDN(INS)回線	9600bps 19200bps 64000bps	2020年頃～	JCA手順 全銀BSC手順 全銀TCP/IP手順
インターネット回線 注2)	10～100Mbps	/	JX手順 ebMS EDIINT AS2

注1) アナログ回線でのJCA手順については2020年頃～動作保障が困難になってくる

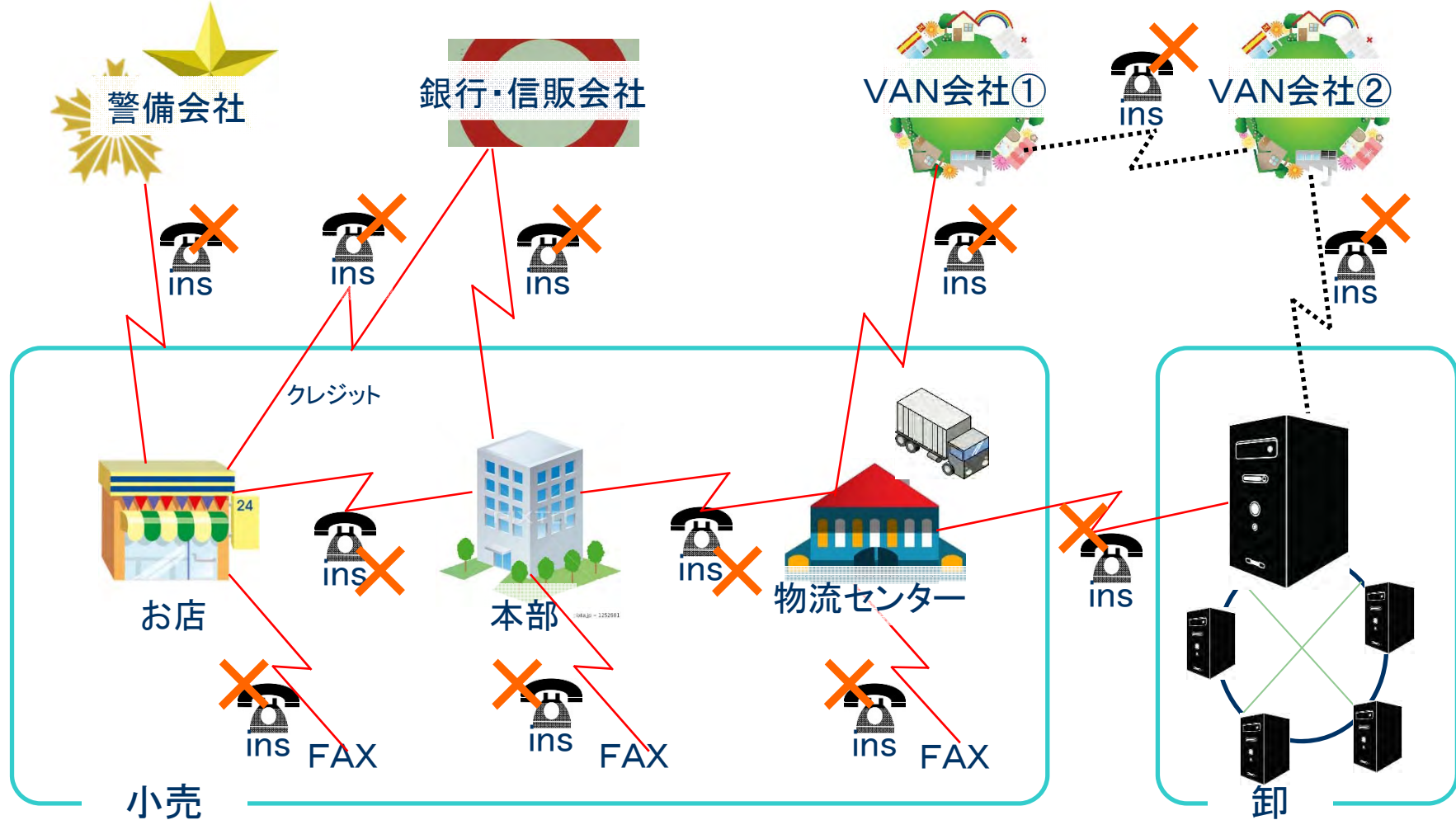
注2) インターネット回線、ここでは流通BMSのイメージを記載

Ⅲ 卸研作成資料

2. INSネット提供終了に伴う流通業界への影響

2-2. 流通システムへの影響

INS回線提供終了に伴う小売業・卸売業への考えられる影響範囲



※ WAN・インターネット回線設備がない場合影響の出る範囲が広い

2-2. 流通システムへの影響

今のままでは、「EOS発注」や「EDI」ができなくなります

NTT東日本／NTT西日本

マイグレーションを機にPSTNで提供しているサービスの見直し
2020年頃よりINSネット(デジタル通信モード)の提供終了

流通業(小売業／卸・メーカー)

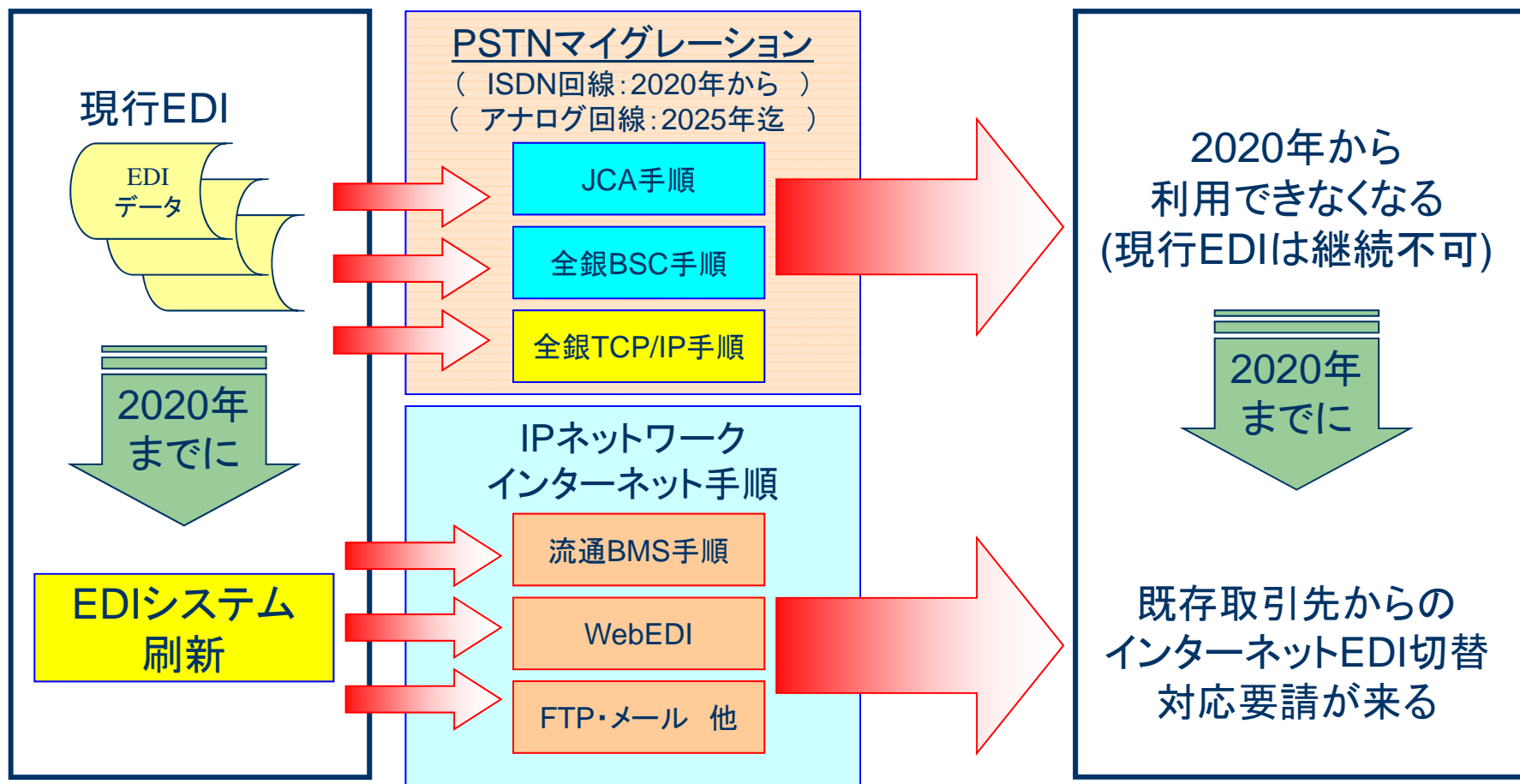
JCA手順、全銀手順、全銀TCP/IP手順が使えなくなる

流通業(小売業／卸・メーカー)

2020年までに、流通BMS等に切り替える必要がある

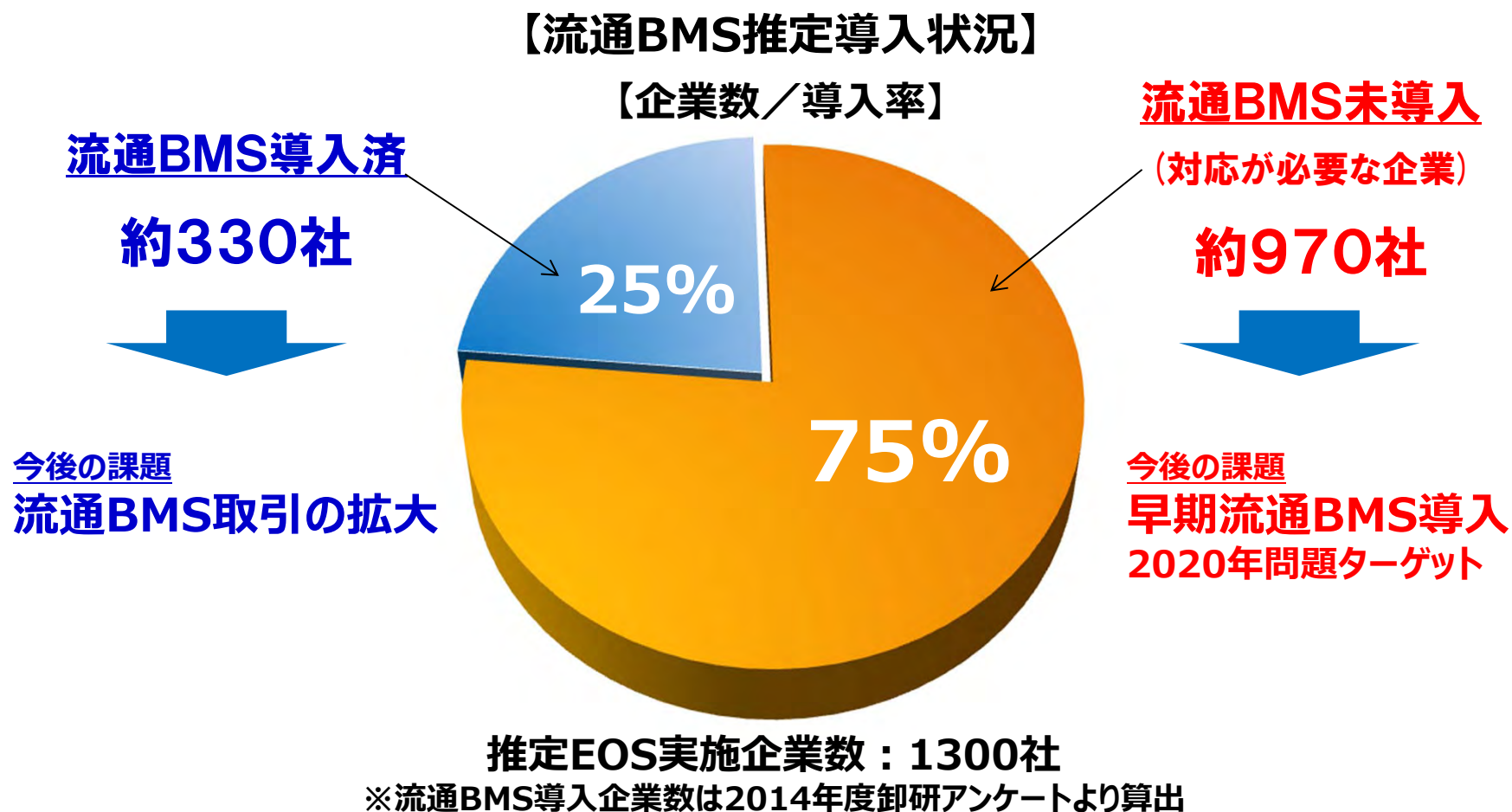
2-2. 流通システムへの影響

●小売業卸売業の2020年までのEDI対策の動き(予想)



小売業の流通BMS導入状況(卸研推定値)

小売業の流通BMS導入率は約25%(330社)と推測されます。2020年問題のターゲット企業である約1000社は、2020年までに流通BMSへ切り替える必要がある。

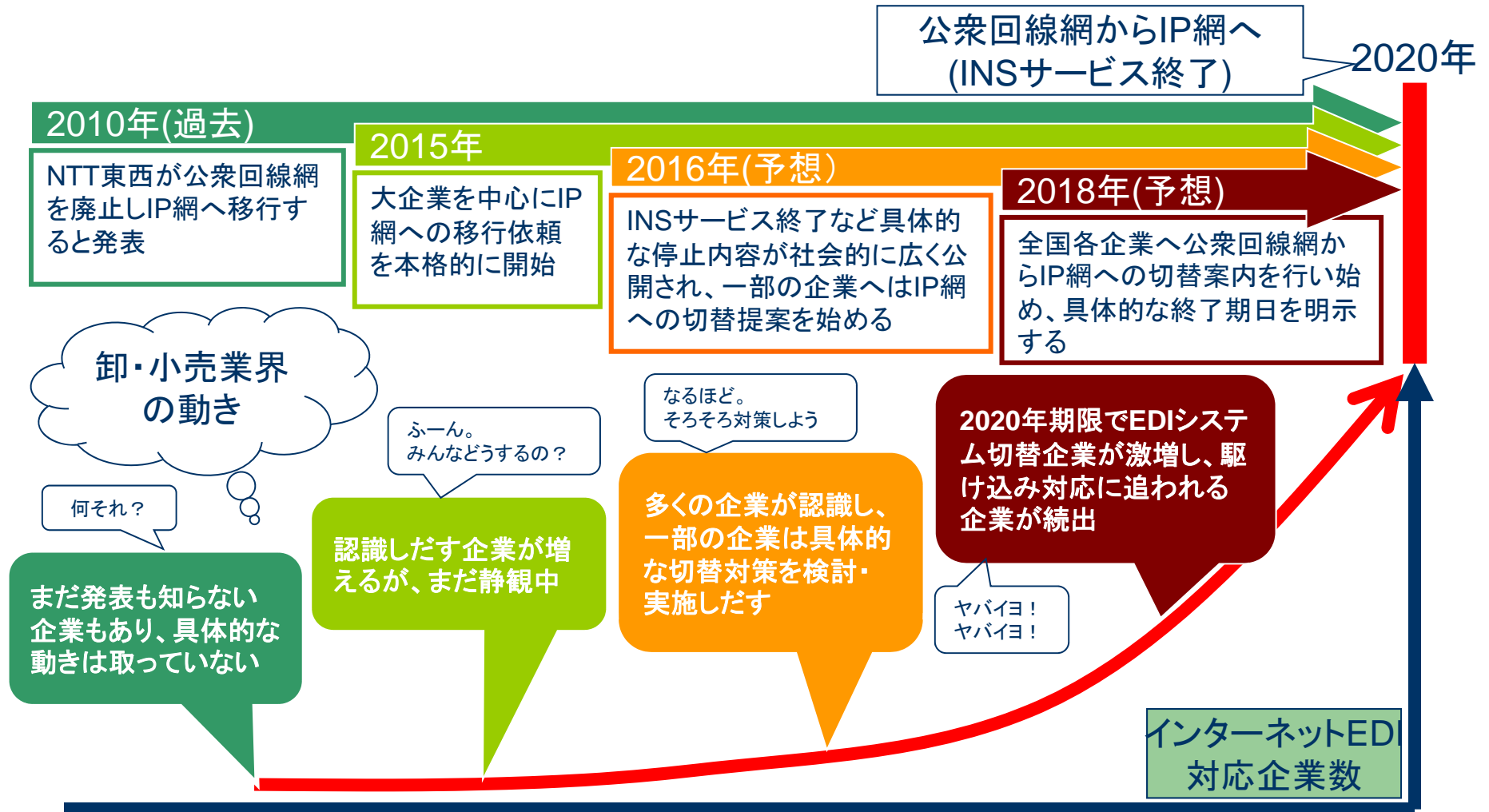


Ⅲ 卸研作成資料

2. INSネット提供終了に伴う流通業界への影響

2-2. 流通システムへの影響

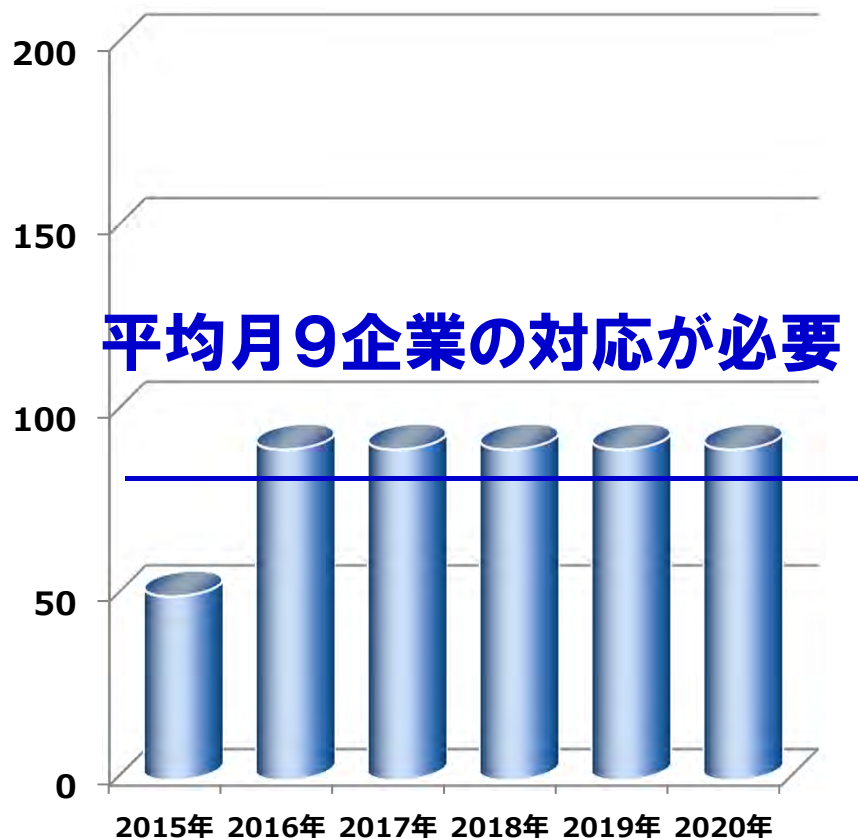
●小売業様2020年までのEDI対策の動き(予想)



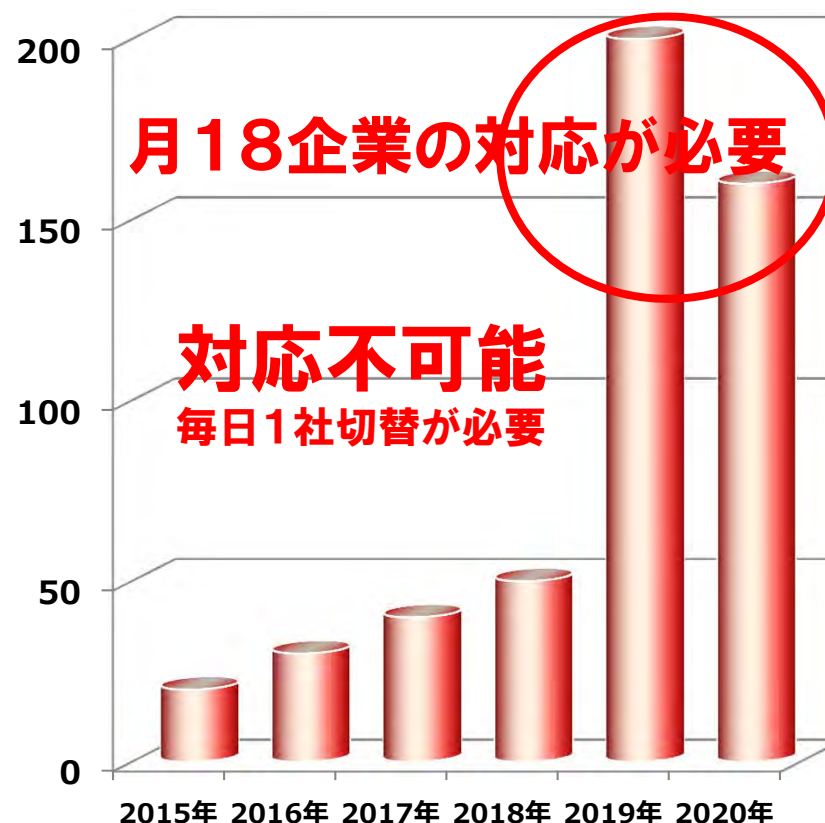
卸売業の対応

流通BMS切替対象企業数を500社とした場合、5年間で対応するためには平均月9社の対応が必要だが、駆け込み要請への対応不可能となる。

【平均的に対応した場合】



【2019年以降に集中した場合】



Ⅲ 卸研作成資料

2. INSネット提供終了に伴う流通業界への影響

卸売業の対応

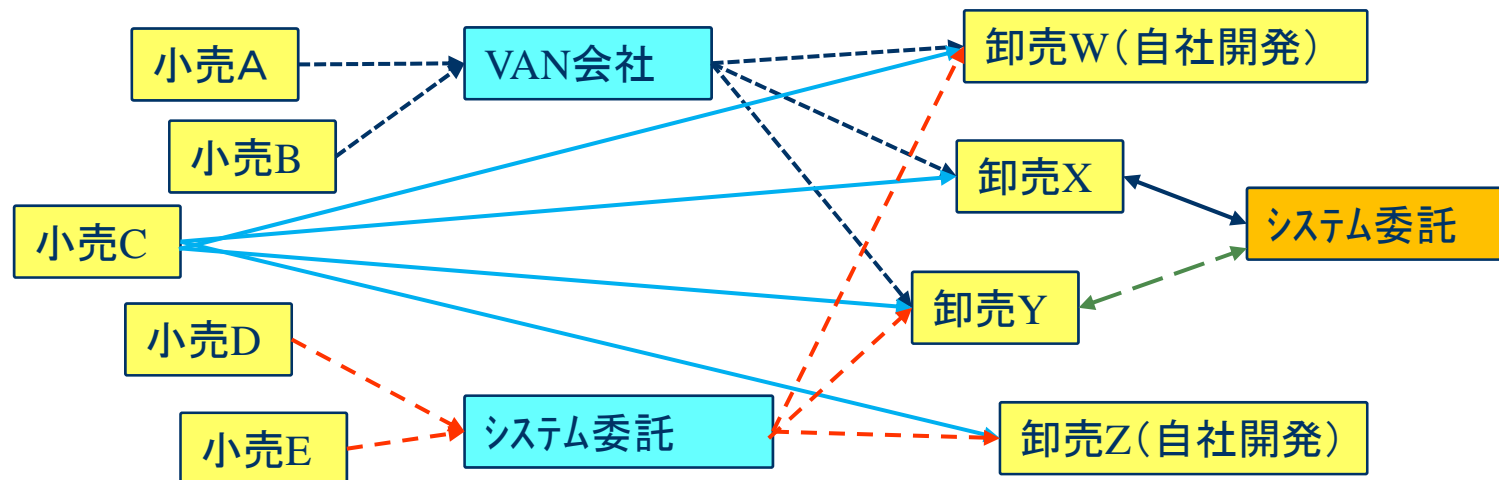
駆け込み要請回避の必要性について

レガシーEDI対象企業数: 500社、切替対応期間: 5年(60ヶ月)
 $500 \div 60 = 8.4$ 社/月 … これでも十分厳しい

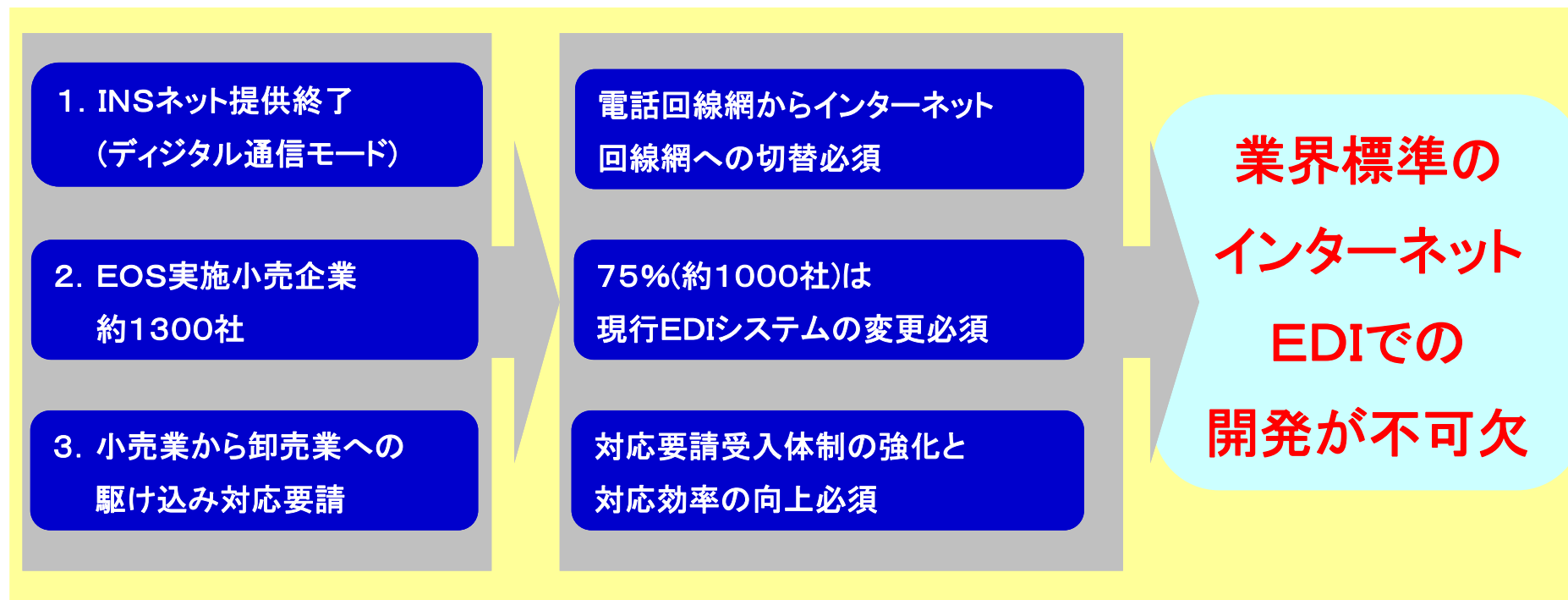
もし、切替が順調に進まず駆け込み要請となると

レガシーEDI対象企業数: 420社、切替対応期間: 2年(24ヶ月)
 $420 \div 24 = 17.5$ 社/月 … これは実質不可能

また、下図のように、小売業・VAN会社・システム委託会社・卸売業など切替に関わる企業が多岐に亘る場合もあり、スケジュール通りに進まない点を考慮する必要がある。



3-1. 流通BMS導入に向けて



小売業・卸売業にとってメリットのある

【 流通BMS 】への切替が最適な手段

流通BMS導入のメリット

卸売業のメリット

【標準仕様】

- 個別開発コストの削減
- システム導入、維持コストの削減

【インターネット回線】

- 通信速度向上により出荷作業前倒しが可能となる
- 通信の安定性向上
- 通信コストの削減

小売業のメリット

【標準仕様】

- 導入行程の短縮
- 取引先との連携が容易となる
- アプリケーションパッケージが販売されている
- VAN会社のEDIサービスで対応が可能

【インターネット回線】

- 卸の納品精度の向上
- 2020年問題に対応(BCP)

【EDI効果】

- 荷受け(検品)、経理業務の効率化
- ノンペーパー化
- 漢字、画像データの送受信が可能
- 金融EDI等、将来的メリットに期待できる

Ⅲ 卸研作成資料 3. 流通BMS導入に向けて

3-2. 流通BMS導入に向けた対策検討

流通BMSに二の足を踏む理由として・・・

(A) 導入コストが高い？！

- ・新たに大規模なシステムを入れるコストを持ってない
- ・導入のために人や時間をかけられない
- ・そもそもコストがどれだけかかるかわからない

(B) 難易度が高い？！

- ・技術が難しくて付いていけない
- ・知識を持つ人がいない
- ・何だかいろいろ面倒な感じ

(C) 自社システムに大幅な変更が必要？！

- ・近々リプレースを思案中だが、BMSの事まで考えられない
- ・発注方法もこのまま、納品も伝票のまま運用を続けたい
- ・社内システムを変更するほど困っていない



卸研案

(1) 流通BMS必要メッセージ

運用で対応

(TA伝票運用マッピング例)

(2) 流通BMS変換サービスで対応

(VAN会社利用)

(3) POSシステム新規導入で対応

(POSベンダー利用)

1. 流通BMS対応TA伝票マッピング例

ターンアラウンド1型伝票印字に必要なものだけをマッピング
マッピングする項目を最小限に絞ることで作業を簡素化

発注入力



発注データ

固定長



発注入力



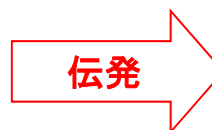
発注データ

固定長

マッピング



伝発

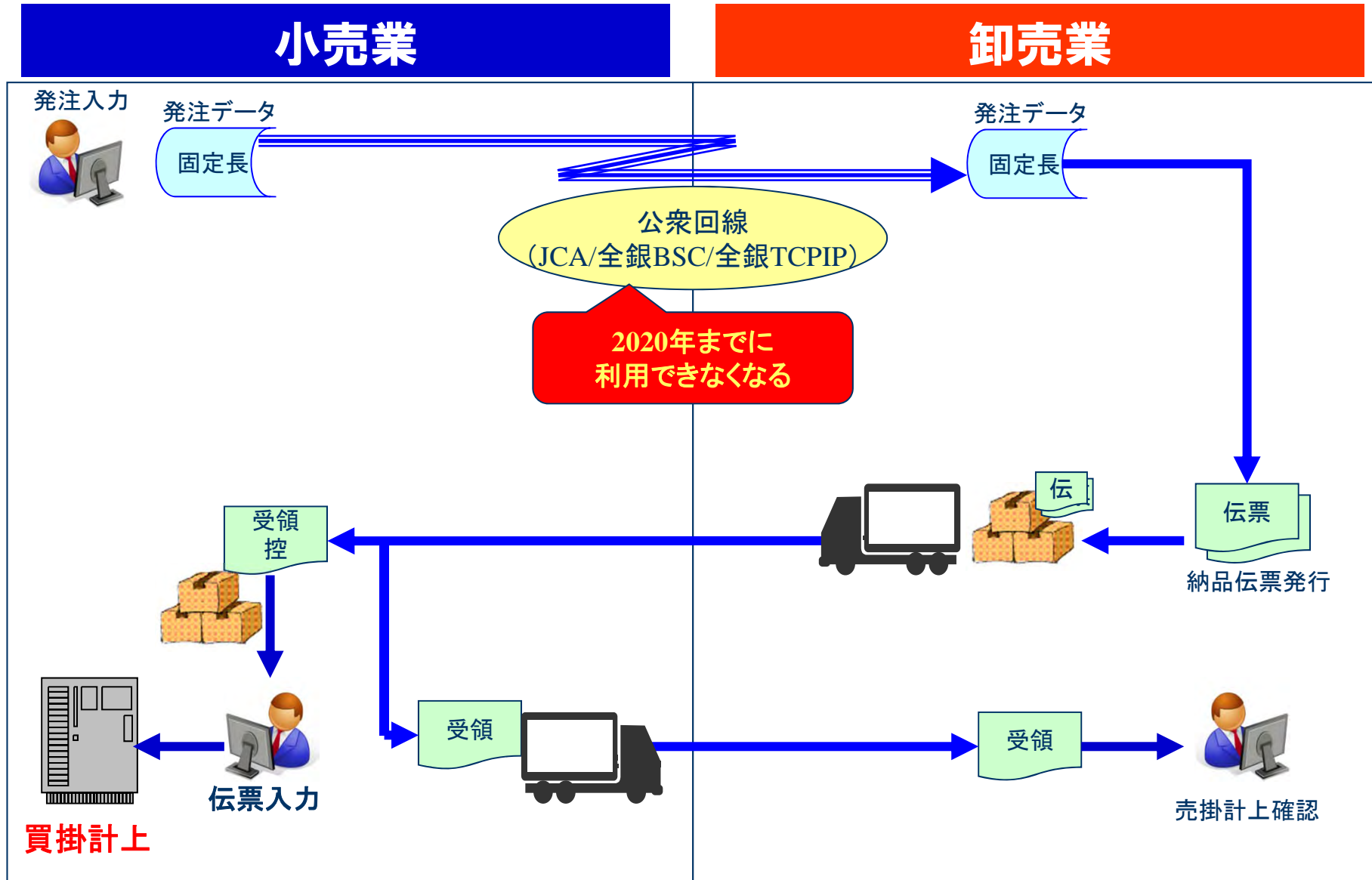


ターンアラウンド1型に必要なものだけをマッピング
※146項目中36項目のセットで可(補足資料参照)

Ⅲ 卸研作成資料

小売業EDI 現行運用例(伝票納品運用)

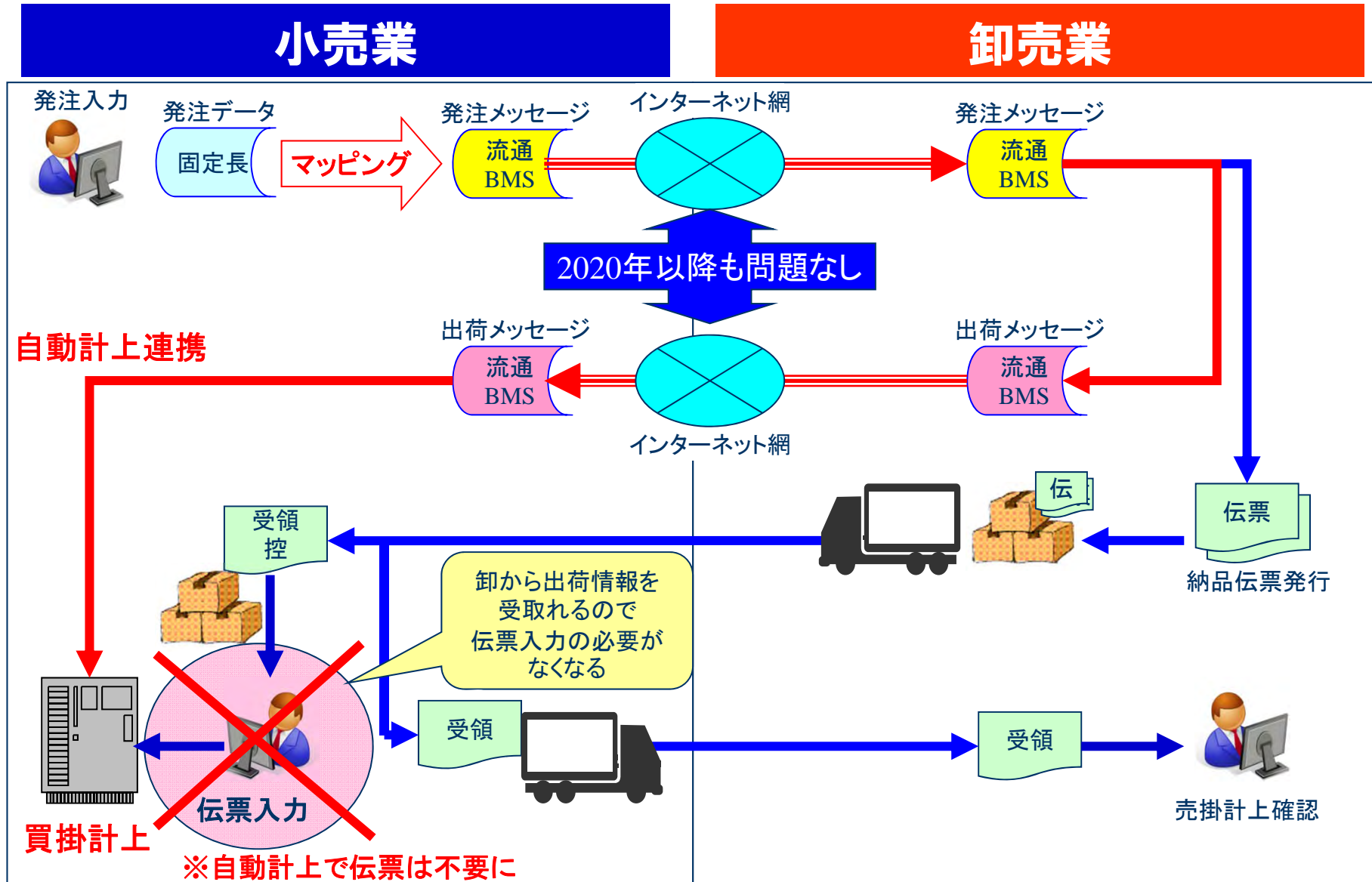
2015年度
情報志向型卸売業研究会
研究委員会



Ⅲ 卸研作成資料

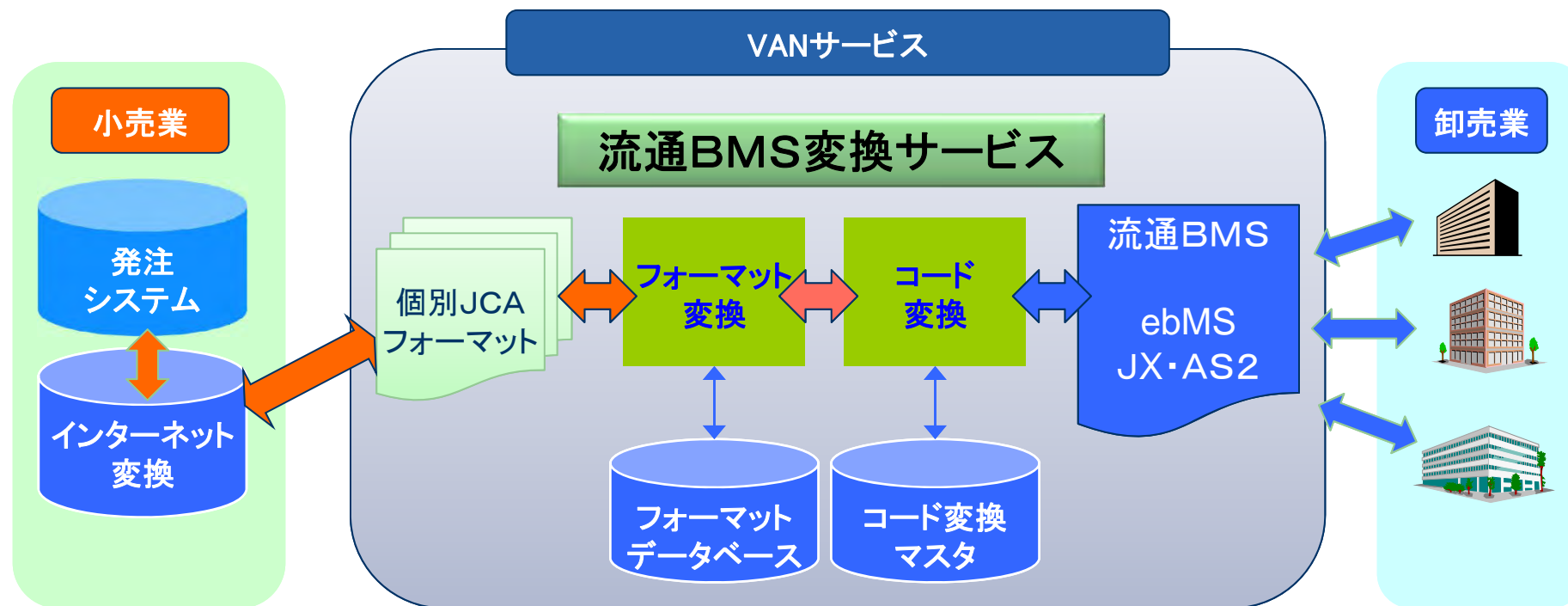
小売業 流通BMS導入例(伝票納品運用継続)

2015年度
情報志向型卸売業研究会
研究委員会



流通BMS未対応小売業向け変換サービス

- ・既存のJCAフォーマットをクラウドサービスで流通BMSに変換
- ・小売業は業務PCにインターネットプロトコルを追加するのみ



インターネットプロトコルを追加
(FTP・インターネット手順等)
業務利用のPCに追加で対応可能

- ・ 小売業の発注システムにインターネットプロトコルを追加
- ・ データの送信先を公衆回線からインターネット回線に切替
- ・ 小売業は既存のファイルレイアウトをそのまま使用
- ・ クラウドEDIで流通BMSにフォーマット&プロトコル変換

POSベンダーへの流通BMS導入推進依頼

目的

小規模チェーンへの導入促進のための協力要請

大手手小売業の流通BMS導入は進んでいるが、小規模なチェーン店では導入が遅れている。小規模チェーンの導入を促進するためには、取引業者や公的機関から導入を推奨するより、システム更新時に担当しているシステムベンダーからの提案が一番の近道であると考えた。
Aグループとしては、主要なPOSベンダーに現状の対応状況の確認と、導入促進に向けた提案して頂くことを各社に依頼する。

依頼内容

EDIシステムの通信手段を流通BMSへ

POSシステムと連動したオンライン発注システムに流通BMSを第一に採用して頂くよう依頼する。

WebEDI使用の優先順位降下

標準化から外れるWebEDIシステムの導入は、なるべく優先順位として下げて頂くよう依頼する。

卸の対応状況理解

卸の今後の対応状況の説明を行い、直前対応を回避するために流通BMS導入を早めて頂く。

POSベンダーへの流通BMS導入推進依頼

依頼結果

流通BMS導入を促進することを各社合意

今後のシステム導入提案時には卸の対応状況のご理解を含め、ご提案として推進して頂くことを合意した。

ヒアリング結果

各社流通BMS対応状況

- ・ 流通BMSソフトは製品として各社ラインアップされている。 → 導入促進要請
- ・ POS連動の本部システム・発注システムとしては、流通BMSとの連携はできている。 → 導入促進要請
- ・ 小規模チェーンでは、連動した流通BMSソフトを導入することはコスト的に難しい。VAN会社、またはVAN会社に連動したHHTなどによる発注システムを導入している。 → VAN会社への導入促進要請

小売の対応状況

- ・ 小売の意見としては、流通BMS導入のメリットがよく分からないという意見が出ている。 → 小売側の理解促進
- ・ 2020年INS廃止に対する対応は、まだ期間があるため現状では様子を見ているところもある。 → 対応状況説明

その他

- ・ WebEDIは、小売毎にデータ内容が異なるため開発には工数がかかっており、標準仕様である方が導入しやすい。WebEDIサービスを特定し標準として用意しているベンダーもあった。 → 全体最適説明

今後も公的な場での啓蒙と導入・普及推進活動が必要

本年度の研究を通して

【INSネット(デジタル通信モード)廃止に伴う影響は非常に大きい】

INSネット廃止で現状のEOS発注／EDIが実質使用困難になることが予想されており使えなくなった場合は流通業界に甚大な影響が出ることは火を見るより明らかである。そのために、小売業・卸売業共に莫大な対応作業が必要となる。また、駆け込み要請で説明したとおり早期対応が望まれる。

【流通BMS切替へのハードルは下がっている】

業界標準の流通BMS切替については本研究で提案した様にいくつかの手段を講じることができ、もはや難しいものではなくなっている。

今後の課題について

【各企業への認知の難しさ】

■もし、メディア媒体にINSネット(デジタル通信モード)廃止について発信を行った場合社内のどこまで浸透するだろうか。関心を持つのはシステム部門のみに留まるのではないかと推測される。

また、業界団体から直接通知が来た場合にもメディア媒体よりは関心を持たれるだろうが具体的な問題として社内全体に伝わるだろうか。

■問題としてしっかりと認識していく為には外部からの発信ではなく問題に直面する小売業・卸売業どちらからでもいいので業界内部から積極的に対応していく必要性がある。

**卸研のメンバーは本研究内容を社内に持ち帰り
社内啓蒙を積極的に行い業界の問題として認知を深めてください！！**

卸営業向けパンフレット

- 知っていますか？あと5年しかありません！

今のままでは、2020年後半頃より
EOS発注／EDIができなくなる

2020秋頃 NTTのINSネット(デジタル通信モード)提供終了予定

- 2020年までにインターネット通信への切り替えが必須に！

電話回線を利用した通信は
利用できなくなる可能性が大

【対象となる通信手順】

JCA手順

全銀BSC手順

全銀TCP/IP手順



インターネットを利用した手順

流通BMS

ebMS手順, AS2手順, JX手順

WebEDI

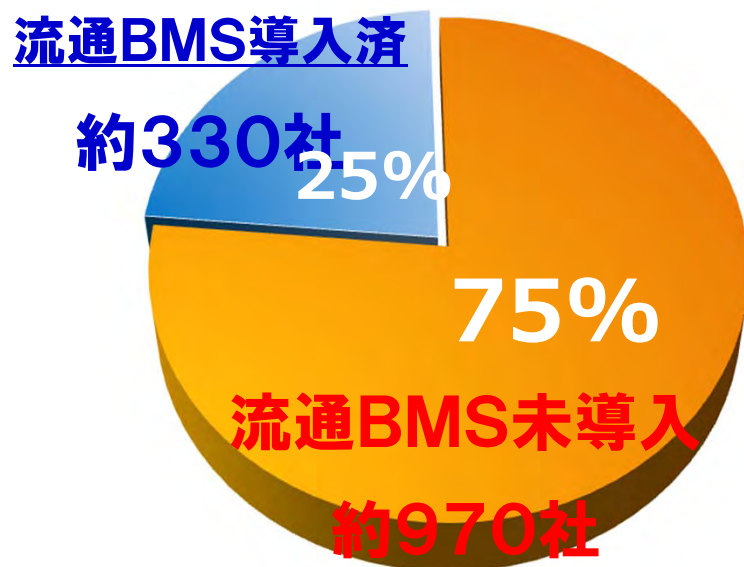
FTP・メール他

卸営業向けパンフレット

EOSを実施している約75%の小売業が、
まだ電話回線を利用しています

駆け込み要請があった場合には、卸も対応が
不可能となるため、早めの準備が必要です

【流通BMS導入状況】



推定EOS実施企業数：1300社

※流通BMS導入企業数は2014年度卸研アンケートより算出

【インターネット通信切替要請企業数推移】



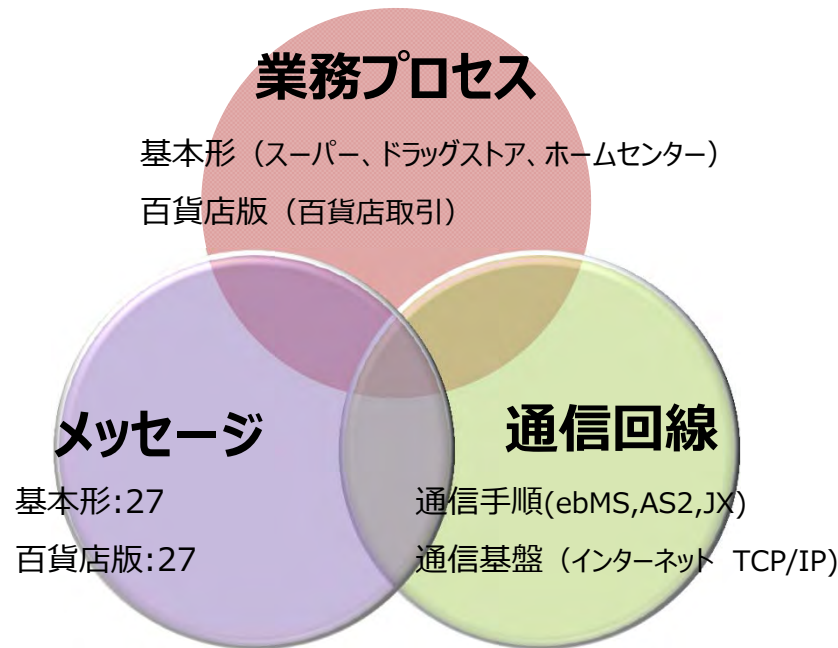
卸営業向けパンフレット

流通BMSとは？

流通BMSとは、消費財流通業界標準EDI

流通 **B**usiness **M**essage **S**tandard

流通BMSのポイントは標準化！

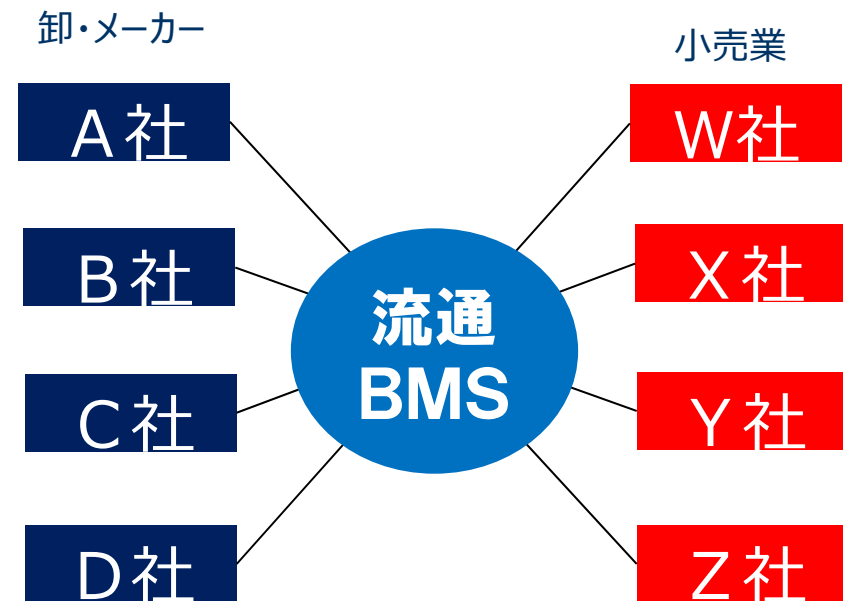


流通BMSの期待効果

流通業界共通の業務プロセスとデータ書式

導入コスト削減と導入工数削減

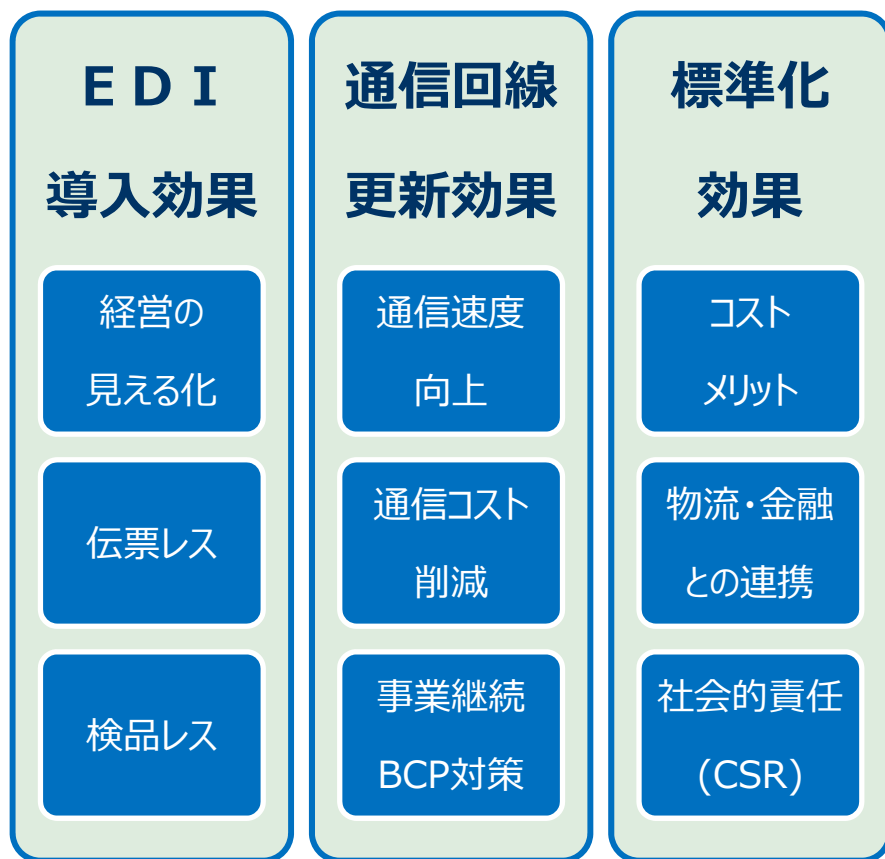
流通業界全体最適化



卸営業向けパンフレット

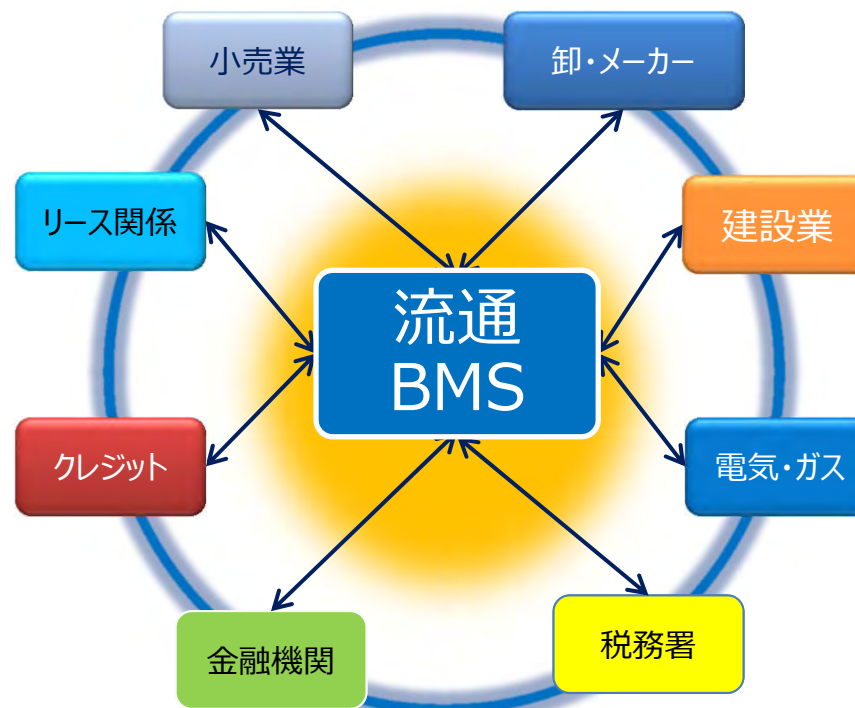
2020年までに流通BMSに切替えましょう！

【流通BMS導入効果】



【流通BMSの将来的展望】

業界を超えた社会の共通インフラ



Ⅲ 卸研作成資料

補足資料②

2015年度
情報志向型卸売業研究会
研究委員会

(1)流通BMS対応TA伝票マッピング例(発注メッセージ)

通番	メッセージ項目番号	分類	項目名	階層1	階層2	階層3	必須/任意	タイプ	XMLデータ型*1	桁数	引継項目	コードリスト	伝票項目格納説明
SPDH													
1	データ整合性	送信者ID		0			必須	文字	string				最終送信先コード+SA
2	データ整合性	送信者ID発行元		0			必須	文字	string				「CODE」
3	データ整合性	受信者ID		0			必須	文字	string				取引先コード+SA
4	データ整合性	受信者ID発行元		0			必須	文字	string				「CODE」
5	データ整合性	バージョン		0			必須	文字	string				「IP」
6	データ整合性	インスタンスID		0			必須	文字	string				SPACE
7	データ整合性	メッセージ種		0			必須	文字	string				「Order」
8	データ整合性	作成日時		0			必須	日時	dateTime				データ処理日付
9	データ整合性	テスト区分ID		0			任意	文字	string				テストフラグとして使用
メッセージ情報													
11	データ整合性	メッセージ識別ID		0			必須	文字	string				SPACE
16	21	登録人物：小売	支払法人ID	0			必須	数字	Identifier	MAX13			「0」固定
17	22	登録人物：小売	支払法人GLN	0			必須	数字	Identifier	MAX13			「0」固定
18	23	登録人物：小売	発注者コード	0			必須	数字	Identifier	MAX13			発注者企業コード+SA
19	24	登録人物：小売	発注者GLN	0			必須	数字	Identifier	MAX13			「0」固定
20	25	登録人物：小売	発注者名称	0			任意	文字	Text	MAX20			社名(全角) 出来ない場合はSPACEセット
21	26	登録人物：小売	発注者名称カナ	0			任意	文字(半角カナ)	Text	MAX20			社名
22	121	番号	取引番号(発注・返品)	0			必須	数字	Identifier	MAX10			伝票番号
24	27	登録人物：小売	直接納品先コード	0			任意*3	数字	Identifier	MAX13			社・店コード
25	28	登録人物：小売	直接納品先GLN	0			任意*3	数字	Identifier	MAX13			「0」固定
26	29	登録人物：小売	直接納品先名称	0			任意	文字	Text	MAX20			店名(全角) 出来ない場合はSPACEセット
27	30	登録人物：小売	直接納品先名称カナ	0			任意	文字(半角カナ)	Text	MAX20			店名
28	31	登録人物：小売	最終納品先コード	0			必須	数字	Identifier	MAX13			社・店コード
29	32	登録人物：小売	最終納品先GLN	0			必須	数字	Identifier	MAX13			「0」固定
30	33	登録人物：小売	最終納品先名称	0			任意	文字	Text	MAX20			店名(全角) 出来ない場合はSPACEセット
31	34	登録人物：小売	最終納品先名称カナ	0			任意	文字(半角カナ)	Text	MAX20			店名
32	35	登録人物：小売	計上部署コード	0			必須	数字	Identifier	MAX13			社・店コード
33	36	登録人物：小売	計上部署GLN	0			必須	数字	Identifier	MAX13			「0」固定
38	51	登録人物：卸/メーカー(請求支払関連)	請求取引先コード	0			必須	数字	Identifier	MAX13			取引先コード
39	52	登録人物：卸/メーカー(請求支払関連)	請求取引先GLN	0			必須	数字	Identifier	MAX13			「0」固定
42	53	登録人物：卸/メーカー(請求支払関連)	取引先コード	0			必須	数字	Identifier	MAX13			取引先コード
43	54	登録人物：卸/メーカー(請求支払関連)	取引先GLN	0			必須	数字	Identifier	MAX13			「0」固定
44	55	登録人物：卸/メーカー(請求支払関連)	取引先名称	0			任意	文字	Text	MAX20			取引先名(全角) 出来ない場合はSPACEセット
45	56	登録人物：卸/メーカー(請求支払関連)	取引先名称カナ	0			任意	文字(半角カナ)	Text	MAX20			取引先名
50	176	各種区分(物成)	種No	0			任意	数字	Code	2	0		種(コードリストに準ずる)
58	233	コメント	ラベル自由使用欄(印字用)	0			任意	文字	Text	MAX60			伝票印字用 自由仕様欄(全角)①
59	234	コメント	ラベル自由使用欄半角カナ(印字用)	0			任意	文字(半角カナ)	Text	MAX60			伝票印字用 自由仕様欄(半角)①

通番	メッセージ項目番号	分類	項目名	階層1	階層2	階層3	必須/任意	タイプ	XMLデータ型*1	桁数	引継項目	コードリスト	伝票項目格納説明
60	87	商品関連	商品分類(大)		0		必須	英数	Identifier	MAX10			分類コード
61	88	商品関連	商品分類(中)		0		必須	英数	Identifier	MAX10			SPACE
62	101	日付関連	発注日		0		必須	数字	Date	8			発注日
64	103	日付関連	最終納品先納品日		0		必須	数字	Date	8			納品日
69	171	各種区分(発注)	発注区分		0		任意	数字	Code	2	0		伝票区分(コードリストに準ずる)
70	172	各種区分(発注)	発注区分		0		任意	数字	Code	2	0		発注区分(コードリストに準ずる)
82	231	コメント	自由使用欄		0		任意	文字	Text	MAX60			伝票印字用 自由仕様欄(全角)②
83	232	コメント	自由使用欄半角カナ		0		任意	文字(半角カナ)	Text	MAX60			伝票印字用 自由仕様欄(半角)②
84	138	金額	原価金額合計		0		任意	数字	Amount	MAX10			原価金額の伝票番号(取引番号)毎合計を計算
85	136	金額	売価金額合計		0		任意	数字	Amount	MAX10			売価金額の伝票番号(取引番号)毎合計を計算
86	138	金額	税額合計金額		0		任意	数字	Amount	MAX10			原価金額の伝票番号(取引番号)毎合計から税額を計算
87	157	数量	数量合計		0		任意	数字	Quantity	MAX6			数量の伝票番号(取引番号)毎合計を計算
88	158	数量	発注単位数量合計		0		任意	数字	Quantity	MAX6			発注単位数量の伝票番号(取引番号)毎合計を計算
90	123	番号	取引明細番号(発注・返品)		0		必須	英数	Identifier	MAX4			行番号
100	72	商品関連	商品コード(GTN)		0		必須	数字	Identifier	MAX14			「0」付加)商品コード
101	73	商品関連	商品コード(発注用)		0		必須	数字	Identifier	MAX14			商品コード
103	75	商品関連	商品コード区分		0		必須	数字	Code	3	0		(コードリストより)
104	77	商品関連	商品名		0		任意	文字	Text	MAX25			全角商品名 出来ない場合はSPACEセット
105	78	商品関連	商品名カナ		0		任意	文字(半角カナ)	Text	MAX25			商品名(半角カナ)
106	79	商品関連	規格		0		任意	文字	Text	MAX25			SPACE
107	80	商品関連	規格カナ		0		任意	文字(半角カナ)	Text	MAX25			SPACE
108	315	商品関連	入数		0		任意	数字	Quantity	MAX4			入数
127	81	商品関連	カラーコード		0		任意*3	英数	Identifier	MAX10			SPACE(伝票印字の必要に応じて格納可能)
128	83	商品関連	カラー名称		0		任意	文字	Text	MAX20			SPACE(伝票印字の必要に応じて格納可能)
129	84	商品関連	カラー名称カナ		0		任意	文字(半角カナ)	Text	MAX20			SPACE(伝票印字の必要に応じて格納可能)
130	82	商品関連	サイズコード		0		任意*3	英数	Identifier	MAX10			SPACE(伝票印字の必要に応じて格納可能)
131	85	商品関連	サイズ名称		0		任意	文字	Text	MAX30			SPACE(伝票印字の必要に応じて格納可能)
132	86	商品関連	サイズ名称カナ		0		任意	文字(半角カナ)	Text	MAX30			SPACE(伝票印字の必要に応じて格納可能)
133	131	金額	原価単価		0		必須	数字(小数以下2桁有り)	Amount	MAX10			原価単価
134	132	金額	原価金額		0		必須	数字	Amount	MAX10			原価金額
135	134	金額	売価単価		0		任意	数字	Amount	MAX10			売価単価
136	135	金額	売価金額		0		任意	数字	Amount	MAX10			売価金額
137	137	金額	税額		0		任意	数字	Amount	MAX10			原価金額から税額を計算
138	151	数量	発注数量(1桁)		0		必須	数字(小数以下1桁有り)	Quantity	MAX7			数量
139	152	数量	発注単位		0		必須	数字	Numeric	MAX4			単位
140	153	数量	発注数量(発注単位数)		0		必須	数字	Quantity	MAX6			発注単位数
141	154	数量	発注単位コード		0		必須	数字	Code	2	0		単位をコードリストより

Ⅲ 卸研作成資料 補足資料②

(2)流通BMS対応TA伝票マッピング例(出荷メッセージ)

連番	メッセージ 項目番号	分類	項目名	階層1	階層2	階層3	階層4	必須 / 任意	タイプ	XML データ型 *1	桁数	引継 項目	コード リスト	伝票項目 格納説明
SPDCH														
1	1	データ整合性	送着者ID	○				必須	文字	string				取引先コード+SA
2	2	データ整合性	送着者ID発行元	○				必須	文字	string				"CODE"
3	3	データ整合性	受着者ID	○				必須	文字	string				最終送付先コード+SA
4	4	データ整合性	受着者ID発行元	○				必須	文字	string				"CODE"
5	5	データ整合性	バージョン	○				必須	文字	string				"IP"
6	6	データ整合性	インスタンスID	○				必須	文字	string				SPACE
7	7	データ整合性	メッセージ種	○				必須	文字	string				"Shipment Notification"
8	8	データ整合性	作成日時	○				必須	日時	dateTime				データ処理日付
9	9	データ整合性	テスト区分ID	○				任意	文字	string				テストフラグとして使用
メッセージ情報														
11	11	データ整合性	メッセージ識別ID	○				必須	文字	string				SPACE
16	21	登録人物：小売	支払法人コード	○				必須	数字	Identifier	MAX13	発注		"0"固定
17	22	登録人物：小売	支払法人GLN	○				必須	数字	Identifier	MAX13	発注		"0"固定
18	23	登録人物：小売	発注者コード	○				必須	数字	Identifier	MAX13	発注		発注者企業コード+SA
19	24	登録人物：小売	発注者GLN	○				必須	数字	Identifier	MAX13	発注		"0"固定
20	25	登録人物：小売	発注者名称	○				任意	文字	Text	MAX20	発注		社名(全角) 出来ない場合はSPACEセット
21	26	登録人物：小売	発注者名称カナ	○				任意	文字 (半角カナ)	Text	MAX20	発注		社名
22	12	品名	取引番号(発注・返品)	○				必須	数字	Identifier	MAX10	発注		伝票番号
25	27	登録人物：小売	直接納品先コード	○				任意*3	数字	Identifier	MAX13	発注		社・店コード
26	28	登録人物：小売	直接納品先GLN	○				任意*3	数字	Identifier	MAX13	発注		"0"固定
27	29	登録人物：小売	直接納品先名称	○				任意	文字	Text	MAX20	発注		店名(全角) 出来ない場合はSPACEセット
28	30	登録人物：小売	直接納品先名称カナ	○				任意	文字 (半角カナ)	Text	MAX20	発注		店名
29	31	登録人物：小売	最終納品先コード	○				必須	数字	Identifier	MAX13	発注		社・店コード
30	32	登録人物：小売	最終納品先GLN	○				必須	数字	Identifier	MAX13	発注		"0"固定
31	33	登録人物：小売	最終納品先名称	○				任意	文字	Text	MAX20	発注		店名(全角) 出来ない場合はSPACEセット
32	34	登録人物：小売	最終納品先名称カナ	○				任意	文字 (半角カナ)	Text	MAX20	発注		店名
33	35	登録人物：小売	計上部署コード	○				必須	数字	Identifier	MAX13	発注		社・店コード
34	36	登録人物：小売	計上部署GLN	○				必須	数字	Identifier	MAX13	発注		"0"固定
39	51	登録人物：卸/メーカー (請求支払関係)	請求取引先コード	○				必須	数字	Identifier	MAX13	発注		取引先コード
40	52	登録人物：卸/メーカー (請求支払関係)	請求取引先GLN	○				必須	数字	Identifier	MAX13	発注		"0"固定
43	55	登録人物：卸/メーカー (請求支払関係)	取引先コード	○				必須	数字	Identifier	MAX13	発注		取引先コード
44	56	登録人物：卸/メーカー (請求支払関係)	取引先GLN	○				必須	数字	Identifier	MAX13	発注		"0"固定
45	57	登録人物：卸/メーカー (請求支払関係)	取引先名称	○				任意	文字	Text	MAX20	発注		取引先名称(全角) 出来ない場合はSPACEセット
46	58	登録人物：卸/メーカー (請求支払関係)	取引先名称カナ	○				任意	文字 (半角カナ)	Text	MAX20	発注		取引先名
53	176	各様区分(発注)	欄No	○				任意	数字	Code	2	発注	○	欄(コードリストに準ずる)
62	233	コメント	ラベル自由使用欄(印字用)	○				任意	文字	Text	MAX60	出荷		伝票印字用 自由仕様欄(全角)①
63	234	コメント	ラベル自由使用欄(半角カナ(印字用))	○				任意	文字 (半角カナ)	Text	MAX60	出荷		伝票印字用 自由仕様欄(半角)①
64	87	商品関連	商品分類(大)	○				必須	英数	Identifier	MAX10	発注		分類コード
65	88	商品関連	商品分類(中)	○				必須	英数	Identifier	MAX10	発注		SPACE
66	101	日付関連	発注日	○				必須	数字	Date	8	発注		発注日
68	103	日付関連	最終納品先納品日	○				必須	数字	Date	8	発注		納品日
73	171	各様区分(発注)	商品区分	○				任意	数字	Code	2	発注	○	伝票区分(コードリストに準ずる)
74	172	各様区分(発注)	発注区分	○				任意	数字	Code	2	発注	○	発注区分(コードリストに準ずる)
87	231	コメント	自由使用欄	○				任意	文字	Text	MAX60	出荷		伝票印字用 自由仕様欄(全角)②
88	232	コメント	自由使用欄(半角カナ)	○				任意	文字 (半角カナ)	Text	MAX60	出荷		伝票印字用 自由仕様欄(半角)②

連番	メッセージ 項目番号	分類	項目名	階層1	階層2	階層3	階層4	必須 / 任意	タイプ	XML データ型 *1	桁数	引継 項目	コード リスト	伝票項目 格納説明
89	135	金額	原価金額合計		○			任意	数字	Amount	MAX10	再計算		原価金額の伝票番号(取引番号)毎合計を計算
90	136	金額	売価金額合計		○			任意	数字	Amount	MAX10	再計算		売価金額の伝票番号(取引番号)毎合計を計算
91	138	金額	税額合計金額		○			任意	数字	Amount	MAX10	再計算		原価金額の伝票番号(取引番号)毎合計から税額を計算
92	157	数量	数量合計		○			任意	数字	Quantity	MAX6	再計算		数量の伝票番号(取引番号)毎合計を計算
93	158	数量	発注単位数量合計		○			任意	数字	Quantity	MAX6	再計算		発注単位数量の伝票番号(取引番号)毎合計を計算
95	123	番号	取引明細番号(発注・返品)		○			必須	英数	Identifier	MAX4	発注		行番号
107	72	商品関連	商品コード(GTIN)		○			必須	数字	Identifier	MAX14	発注		"0"付加商品コード
108	73	商品関連	商品コード(発注用)		○			必須	数字	Identifier	MAX14	発注		商品コード
109	74	商品関連	商品コード(取引先)		○			任意	文字 (半角カナ)	Text	MAX14	発注		
111	75	商品関連	商品コード区分		○			必須	数字	Code	3	発注	○	(コードリストより)
112	77	商品関連	商品名		○			任意	文字	Text	MAX25	発注		全角商品名 出来ない場合はSPACEセット
113	78	商品関連	商品名カナ		○			任意	文字 (半角カナ)	Text	MAX25	発注		商品名(半角カナ)
114	79	商品関連	規格		○			任意	文字	Text	MAX25	発注		SPACE
115	80	商品関連	規格カナ		○			任意	文字 (半角カナ)	Text	MAX25	発注		SPACE
116	315	商品関連	入数		○			任意	数字	Quantity	MAX4	発注		入数
135	81	商品関連	カラーコード		○			任意*3	英数	Identifier	MAX10	発注		SPACE(伝票印字の必要に応じて格納可能)
136	85	商品関連	カラー名称		○			任意	文字	Text	MAX20	発注		SPACE(伝票印字の必要に応じて格納可能)
137	84	商品関連	カラー名称カナ		○			任意	文字 (半角カナ)	Text	MAX20	発注		SPACE(伝票印字の必要に応じて格納可能)
138	82	商品関連	サイズコード		○			任意*3	英数	Identifier	MAX10	発注		SPACE(伝票印字の必要に応じて格納可能)
139	86	商品関連	サイズ名称		○			任意	文字	Text	MAX30	発注		SPACE(伝票印字の必要に応じて格納可能)
140	86	商品関連	サイズ名称カナ		○			任意	文字 (半角カナ)	Text	MAX30	発注		SPACE(伝票印字の必要に応じて格納可能)
141	131	金額	原価単価		○			必須	数字 (小数点以下2桁有り)	Amount	MAX10	発注		原価単価
142	132	金額	原価金額		○			必須	数字	Amount	MAX10	再計算		原価金額
143	134	金額	売価単価		○			任意	数字	Amount	MAX10	発注		売価単価
144	135	金額	売価金額		○			任意	数字	Amount	MAX10	再計算		売価金額
145	137	金額	税額		○			任意	数字	Amount	MAX10	再計算		原価金額から税額を計算
146	151	数量	発注数量(バラ)		○			必須	数字 (小数点以下1桁有り)	Quantity	MAX7	発注		数量
147	152	数量	発注単位		○			必須	数字	Numeric	MAX4	発注		単位
148	153	数量	発注数量(発注単位数)		○			必須	数字	Quantity	MAX6	発注		発注単位数
149	154	数量	発注単位コード		○			必須	数字	Code	2	発注	○	単位をコードリストより
155	155	数量	出荷数量(バラ)		○			必須	数字 (小数点以下1桁有り)	Quantity	MAX7	出荷		出荷数量(バラ)
156	160	数量	出荷数量(発注単位数)		○			任意	数字	Quantity	MAX6	出荷		出荷数量(発注単位数)
157	328	重量	出荷重量		○			任意	数字 (小数点以下3桁有り)	Measure	MAX10	出荷		出荷重量
158	165	数量	欠品数量(バラ数)		○			必須	数字 (小数点以下1桁有り)	Quantity	MAX7	出荷		欠品数量(バラ数)
159	166	数量	欠品数量(発注単位数)		○			任意	数字	Quantity	MAX6	出荷		欠品数量(発注単位数)
160	197	各様区分(発注)	欠品区分		○			任意	数字	Code	2	出荷	○	欠品区分
161	76	商品関連	ITFコード(集合包装GTIN)		○			必須	数字	Identifier	MAX16	出荷		ITFコード(集合包装GTIN)
165	156	数量	出荷得受コード		○			必須	数字	Code	2	出荷	○	出荷得受コード
166	161	数量	出荷数量(出荷得受数)		○			必須	数字	Quantity	MAX6	出荷		出荷数量(出荷得受数)

- ◎ 日用品業界におけるEDI取引企業数
→ 1300社程度
(弊社EDI取引企業数 ・・ 5~600 社)

- ◎ 弊社流通BMS対応済企業数 ・・ 10%程度

- ◎ 開発工数比較
 - 新規JCAを 100 としたとき
 - 流通BMS 60~80
 - WebEDI 120~150

- ※ 帳票・ラベル系の開発工数はJCAと流通BMSでは
ほぼ同程度、WebEDIは若干増加

◎ 小売業様のEDI開発コスト
→ 卸の固定費

◎ 標準システム開発コスト < 個別システム開発コスト

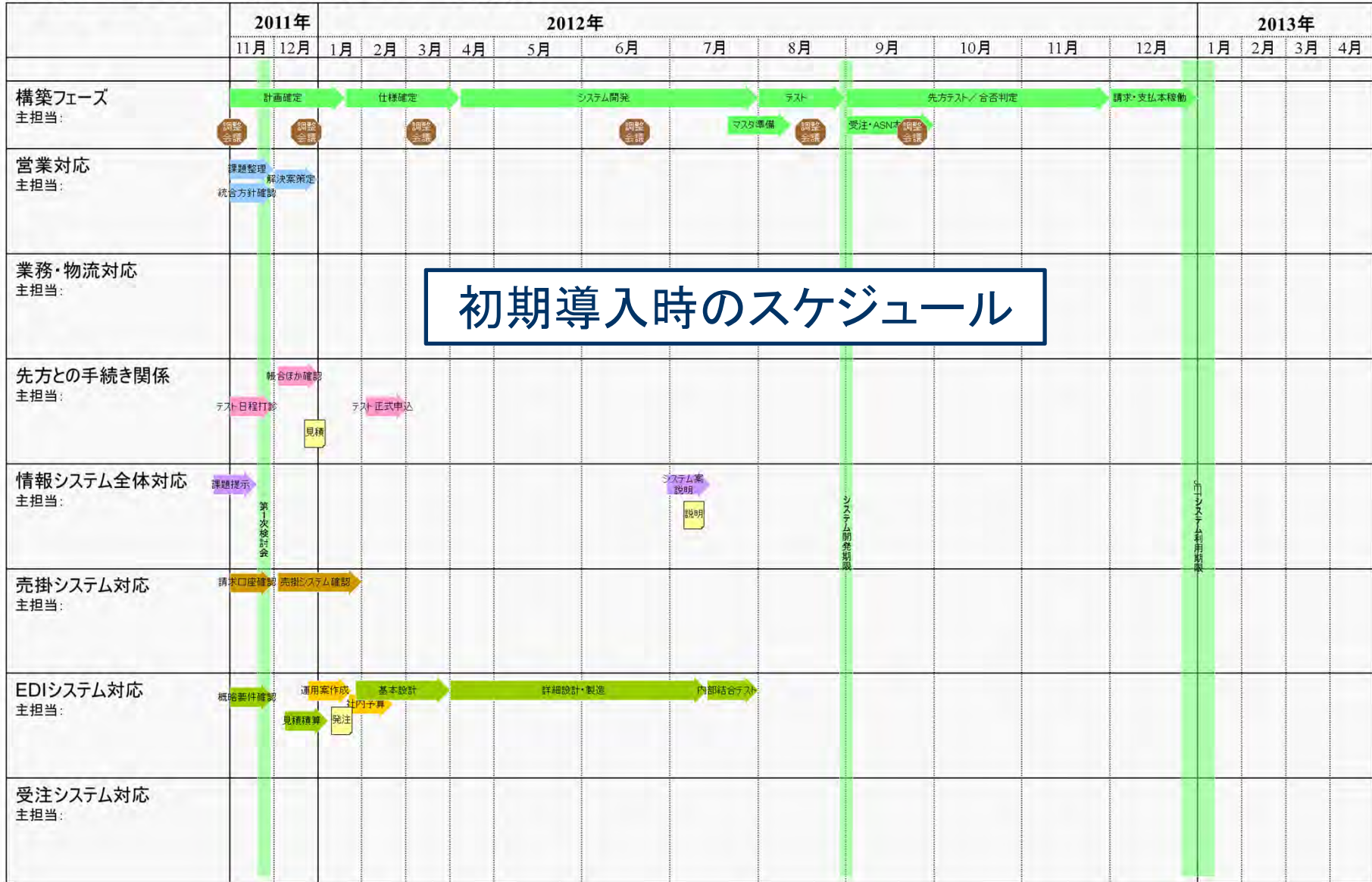
※卸はどちらの対応でも実施する

⇒ 全体最適としてコストを
低くすることが重要

IV 弊社の事例

2015年度
情報志向型卸売業研究会
研究委員会

A社様システム移行対応スケジュール【案】



IV 弊社の事例

1 取引先の対応作業(例)

諸手続き	申請書	a	手続き
		a-01	BMS申請書(東)
		a-02	BMS申請書(西)
			BMS協定書
要件定義	既存調査	b	要件定義
		b-01	既存調査(東)
		b-02	既存調査(西)
		b-03	要件定義
統合対応	出荷ラベル	f	統合対応
		f-01	設計
		f-02	製造・単体
		f-03	結合
	物流帳票	f-04	設計
		f-05	製造・単体
		f-06	結合
	出荷送信	f-07	設計
		f-08	製造・単体
		f-09	結合
取引先xxxxx	xxxxxxxxxx	g	xxxxxx
		g-01	ACMS設定
		g-02	協定シート作成
		g-03	ASP接続テスト
		g-04	マスタ設定
	xxxxxxxxxx	g-05	
		g-06	発注受領並行テスト
		g-07	発注受領本番切替
		g-08	請求支払並行テスト
		g-09	請求支払本番切替
		g-10	出荷並行テスト
		g-11	出荷本番切替
		g-12	値札並行テスト
		g-13	値札切替
		g-14	返品並行テスト
g-15		返品切替	

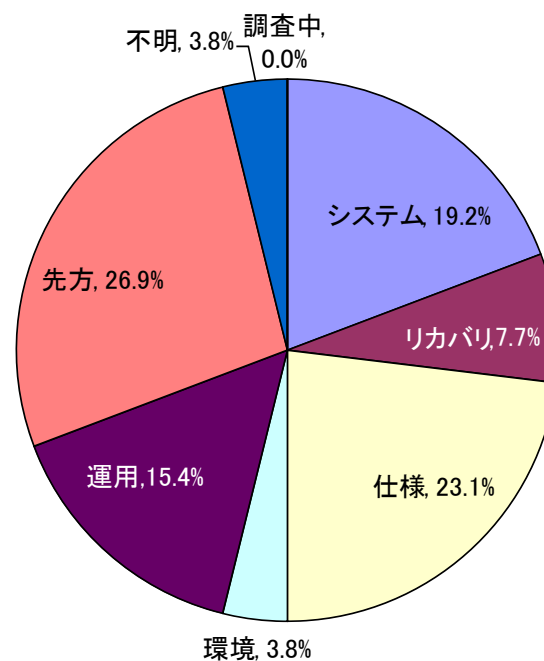
初期開発

共通機能	発注	c	共通機能
		c-01	設計
		c-02	製造・単体
		c-03	結合
	出荷	c-04	設計
		c-05	製造・単体
		c-06	結合
	受領	c-07	設計
		c-08	製造・単体
		c-09	結合
	請求	c-10	設計
		c-11	製造・単体
		c-12	結合
	支払	c-13	設計
		c-14	製造・単体
		c-15	結合
	返品	c-16	設計
		c-17	製造・単体
		c-18	結合
	値札	c-19	設計
		c-20	製造・単体
		c-21	結合
	課店帳票	c-22	設計
		c-23	製造・単体
		c-24	結合
	売掛対応	c-25	設計
		c-26	製造・単体
		c-27	結合テスト
総合テスト	c-28	総合テスト	

IV 弊社の事例

【1】原因分類別一覧

No.	原因分類	内容	件数	割合
①	システム	プログラムバグ、移行ミスが原因での障害	5	19.2%
②	リカバリ	SE臨時作業での操作ミス等が原因での障害	2	7.7%
③	仕様	仕様解釈の相違が原因での障害	6	23.1%
④	環境	DB遅延等による障害	1	3.8%
⑤	運用	運用間違いや先日付確認ミスによる障害	4	15.4%
⑥	先方	先方(VAN含む)システム障害	7	26.9%
⑦	不明	主に先方障害で原因の明らかになっていないもの	1	3.8%
⑧	調査中	調査中	0	0.0%
			26	100.0%



ご清聴
ありがとう
ございました